F·wave
2022 4
藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：車いすでも働けるカフェから

藤沢駅にほど近い住宅地の中、障がい者支援施設でもあるカフェ、「Nico's Kitchen」。入口には車いす用階段昇降機があり、店内はスロープがありバリアフリーの構造になっています。そこを利用する障がい者の方は藤沢市の「NPO 運営相談サポートテラス」（以下、サポートテラス）PR 動画作成のインタビューに「僕の夢であった、カフェで働くことができてうれしいです」と答えてくれました。今回は、Nico's Kitchen を運営する特定非営利活動法人 Nico's Company の小木曽さんにお話をうかがいました。

取材に訪れたのは、藤沢市役所本庁舎でのお弁当販売を終えた金曜日の午後。店内の奥半分は作業所になっている時間で、利用者さんがオリジナル製品の作成にいそしんでいました。以前は和食屋であったという店内は比較的縦長な構造をしていますが、車いすでも通れるようテーブル同士の間を広めにとってあります。小木曽さんからは、「昼まではカフェ営業のみで、午後は軽作業ができるようになっています」と説明を受けました。

（つづく）

特集：車イスでも働けるカフェから

藤沢市役所でのお弁当販売

Nico's Kitchen は 2018 年に、サポートテラスの融資制度を使った 1 例目としてオープンしました。おすすめメニューは、長崎の B 級グルメとして有名な「トルコライス」や、Nico’ s の商品としても販売しているオリジナルハーブティー。カフェ以外にも藤沢市役所でのお弁当販売や配達をしている他、自主製品としてハーブティーや小物を作り、店頭やイベント出店などで販売しているとのことです。小木曽さん曰く「お弁当の配達は歩ける範囲に限定して、利用者さんに直接行ってもらいます」とのことで、事業や活動の中で考えうる内容を利用者さんの活躍の場につなげていく姿勢が感じ取れました。

活動のきっかけは、小木曽さんのお子さんが障がいを持って生まれたことでした。その時、大人になってからの居場所について考え始め、ご自身も福祉関連の資格取得や仕事経験を積んできました。お子さんが養護学校を卒業してから改めて感じたのは、就職先の選択肢の少なさ。一般企業の障がい者雇用枠は狭く、個々の障がいによる制約もあり、希望ではなく消去法で進路を決めざるをえないことが多くなっています。お子さんの希望はカフェで働くことでしたが、車いすを使用しており、受け入れ先は見つかりませんでした。「それなら自分で作ってしまおう」ということで、車いすでも働けるカフェづくりに乗り出しました。

飲食店であるため、新型コロナウイルスの影響も大きく受けています。藤沢市役所内でのお弁当販売や、配達も始めるなど工夫を続けてきました。お弁当にはメッセージカードをつけ、購入したお客さんが SNS 上に投稿してくれることもあるそうです。小木曽さん曰く、「利用者の方は、販売や配達で地域の方たちと交流を持てるのが楽しいようです」とのこと。現在は市内外から 11 名の利用者さんが通っていて、年代も 20 ～ 40 代、障がいの種類も身体だけでなく、幅広く受け入れています。カフェの仕事の中でも盛り付けや配膳など、利用者さんができる部分を見つけてきました。障がいがあるからと諦めるのではなく、やり方を変えれば出来るのか、何を任せられるのか、工夫し続けてきたことを感じます。

カフェのメニュー表

今後について小木曽さんは「農家のお手伝いもお仕事に取り入れて、そこで作った野菜をカフェで使いたい」と語りました。今は利用者の方を更に募集しているとのことです。サポートテラスの PR 動画を作成するにあたっても、NIco’ s Kitchen にご協力いただきました。動画はサポートテラスの Web ページの他、市役所内のサイネージでも公開予定です。

（取材と記事作成：関野）

団体紹介

NPO法人
NIco’s Company

設立：2017年12月
理事長：小木曽 正子
HP：https://nico-web2019.jimdofree.com/
Instagram：nicokitchen_shonan
〒251-0002
神奈川県藤沢市大鋸1-9-2　玉樹ビル1Ｆ

Nico‘ s Companyは　誰もが持っている力を引き出すための場所を作ろうと立ち上げました。障がい者の働く機会と地域での開かれた場所として　社会との交流のサポートをしています。

障がいの枠を越えて　その人が持っている可能性を最大限に活かせる場所を目指しています。

住宅街にあるひっそりとあるカフェで楽しい仲間たちが働いています。

藤沢市役所でのお弁当販売では　元気な声で販売しています。

ぜひ　一度遊びに来てください。

非営利団体向けプランがあるITツール

NPO TIPS

2022年も3ヶ月が過ぎ4月を迎えました。市民活動支援施設としても新しい年度になり、昨年度を振り返りつつ、より充実したサービスを皆さまへ提供するため、スタッフ内での情報共有や意見交換を深めていきたいと考えています。そこで今回は、NPO法人や市民活動団体といった非営利団体向けに使いやすいプランを展開している主に組織内でのコミュニケーションに役立つITサービスをいくつかご紹介します。

LINE WORKS非営利団体向け特別プラン

スマートフォンでのやりとりでよく使われている「LINE」。その使いやすさを保ちつつ、団体運営に適した機能を備えたビジネス版のLINEともいえるサービスです。今回のキャンペーンでは通常100人までのところが1000人まで、クラウドストレージが5GBのところ50GBとフリープランが拡張された内容を使えることが魅力です。任意団体や自治会も応募可能です。

サイボウズチーム応援ライセンス

国産のグループウェアとして様々なサービスを展開するサイボウズ。過去にはサイボウズLiveという無料サービスがあり、使っていた方も多いのではないでしょうか。直感的にわかりやすい画面レイアウトの「サイボウズOffice」、プログラミングの知識がなくてもアプリで業務効率化が図れる「kintone」などが、1サービス年間9900円で使用できます。NPO法人や任意団体などが対象になっています。

Google非営利団体向けプログラム

Techsoupに登録しているNPO法人などが対象になるプラン。GmailやGoogle Driveなど便利なツールがGoogle Workspaceの有料プランと同等の条件で使用できます。何より便利なのがGoogle Meet（オンライン会議ツール）が時間制限なく使用できることです。またAd Grantsという毎月100ドル分のウェブ広告を掲載できるサービスもあり、よりGoogleサービスを活用したいNPO法人にはお勧めです。

手続きや審査等、導入までにひと手間はかかりますが、通常の費用負担に比べるとチャレンジしやすいものをピックアップしました。非営利団体ならでは、のプランなので、ぜひ活用してみてはいかがでしょうか。活用事例などきいてみたい、といったご相談もお待ちしています。（桜）

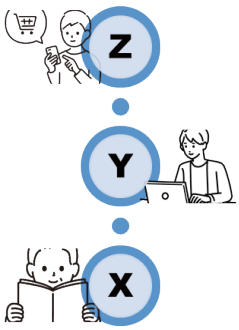
LINE WORKS →
https://pages.worksmobile.com/nonprofit-plan.html

←サイボウズ
https://npo.cybozu.co.jp/team/

Google非営利団体向け→
https://www.google.com/intl/ja/nonprofits/

なぜなにNPO vol.154

Z世代って何？



先日、神奈川県内のとある市役所の新任研修で「協働」に関する研修を行いました。新卒の方ばかりではないようでしたが、打ち合わせの中で「Z世代の皆さんですね」と話題に上りました。2021年頃からインターネットやテレビなどで見かける機会が急激に増えた「Z世代」という言葉。世代をくくるものであり、若者世代を指していることは知っていても、具体的な年齢層や特徴までは知りませんし、「Z」というからには「X」や「Y」が存在しているのでしょうか。調べると、『ハンガリー人の写真家ロバート・キャパ氏が、新世代の若者のことを「X世代」と呼んだことから派生しました。』との記述を見つけました。1965年～1980年ころに生まれた層を指し、情報源がテレビや雑誌などで、デジタル情報を得る環境も徐々に手に入れることができた世代。その後1995年ころまでに生まれた層が「Y世代」。「ミレニアム世代」ともいうようですが、物心がついてきたころからインターネット環境が揃いはじめ、それを駆使して情報を手に入れることができるようになってきていることから、デジタルネイティブやデジタルパイオニアと言われてきています。情報のシャワーを浴びていることから、多様性を認め合うという社会的な感性を持っていることも特徴といわれています。この世代まで、日本では独自の言葉を使っていました。

特に「団塊の世代」は印象的で、政治家であり小説家の堺屋太一氏の戦後生まれの主人公たちが終身雇用中での生き抜くさまを題材にした「団塊の世代」からきているという説があります。その後、「新人類世代」「バブル世代」「団塊ジュニア世代」「ゆとり世代」など、2000年にかけて日本では独自の様々な言葉で世相を表した世代名が使われていました。近年グローバル化が進み、いよいよ「Z世代」という表現を日本でも使うようになりました。2010年頃までに生まれた皆さんを呼ぶようですが、この世代の特徴は、生まれたときからインターネットが身近にあり、操作にも慣れていて、SNSを活用した人的交流（コミュニケーション）、Webを使った情報収集や購買行動などへの活用に長けていて、真のデジタルネイティブと揶揄されています。また、注目されている要因として、世界人口に占める割合が30%超と言われていることもあるでしょう。

さて、この世代論と市民活動とは関係があるのでしょうか。マーケティングの観点からは、共通の時代背景やインフラ整備の進捗により、世代間での考え方や価値観を比較することで、サービスや商品の質や内容、広告や伝え方などの戦略を立てるときに使います。この考え方は、市民活動でも支援者や受益者へのアプローチに同様に活用することができます。組織に関わる人材の悩みは、組織の課題の約半分を占めています。どの世代にどのようにアプローチしていくと効果が上がるかを、世代ごとの特徴を踏まえて戦略を立ててみてはいかがでしょうか。因みにその次の世代を「α世代」というようです。どのような価値観や考え方の世代なのか、少し興味が湧いてきました。（て）

講座・イベントのごあんない

イベント	日時
■IT サポート講座「団体で LINE グループを使おう！」	4月25日(月)　13:30〜15:30
■IT サポート講座「ステップアップ！ワード講座」	5月23日(月)・30日(月)　13:30〜15:30
■■ミライカナエル活動サポート事業募集説明会	4月20日(水)・4月21日(木)・4月23日(土)

NEW! 支援施設からのお知らせ

■IT サポート講座「団体で LINE グループを使おう！」

身近な連絡手段として活用されている LINE は団体活動でも活躍しています。LINE のグループ機能を使って活動を円滑に進めましょう！
グループトークのやりとりをするため 1 団体 2 人以上の参加を推奨します。

日時：2022 年 4 月 25 日 (月)　13:30 ～ 15:30
会場：市民活動推進センター 会議室 A
料金：1000 円（資料代含む）
内容：LINE でできること
友だちへの追加方法
グループの作成や体験 等
対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方
定員：10 名　※先着順
持物：LINE アプリインストール済のスマートフォン
（インストール等事前サポート有、詳しくはお問合せください）
問合・申込：市民活動推進センター

■IT サポート講座「ステップアップ！ワード講座」

2 回の連続講座です。ルーラー、タブ、段落を用いた文字列のキレイな配置や、イラスト、図形、表などを用いた文書作成、レイアウト方法が学べます。チラシ作成に携わる方におすすめの講座です。

日時：2022 年 5 月 23 日・30 日 (いずれも 月)　13:30 ～ 15:30
会場：市民活動推進センター 会議室 A
料金：2 回で 2500 円（資料代含む）
内容：1 回目：ワード初級、2 回目：ワード中級
対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方
定員：10 名　※先着順・貸出 PC5 台まで
問合・申込：市民活動推進センター

■ミライカナエル活動サポート事業募集説明会

この事業は、3 年後にどのような未来を作りたいかを具体的にイメージし、そのためにどのようなプロセスを踏んで事業または団体運営を展開するかを市民活動団体等から企画提案いただき、審査選考を経て、実施するものです。次の日程で募集説明会を開催します。申請をお考えの団体は、できる限り、こちらの募集説明会へご参加ください。説明会は、オンライン（Zoom）で行います。会場での視聴によるご参加も可能です。

■日時（3 回とも内容は同じです。時間は概ね 1 時間程度の予定です。）
①2022 年 4 月 20 日（水）19：00 ～
②2022 年 4 月 21 日（木）10：00 ～
③2022 年 4 月 23 日（土）14：00 ～
※①・③は市民活動推進センター、②は市民活動プラザむつあいに市長会場をご用意しています。

■2022 年度のフードドライブ実施について

2022 年度も引き続き、市民活動推進センター内にフードドライブ回収ボックスを設置いたします。
5 月：2 日（木）～ 13 日（金）
6 月：6 日（月）～ 10 日（金）
7 月：4 日（月）～ 8 日（金）
それ以降の日程や他の設置場所については、二次元バーコードよりご覧ください。

■市民活動推進センターより：用紙等をお譲りしています

館内整理の一環として、施設の事業に使わない封筒、用紙、事務用品等をお譲りしています。
施設入口すぐ、NPO 支援情報コーナー前に設置しておりますので、お使いになる団体はご自由にお持ちください。

発行：藤沢市市民活動支援施設
本館：市民活動推進センター
開館時間 9:00 ～ 22:00　火曜休館
〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢 1031 GRAFARE FUJISAWA 2F
※ビル名が変更になりました
TEL：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516
E メール： f-npoc@shonanfujisawa.com

分館： 市民活動プラザむつあい
開館時間 9:00 ～ 19:00　月曜休館
〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 4-8-1 六会市民センター 2 階
TEL＆FAX：0466-81-0222
E メール： f-npoplaza@shonanfujisawa.com
URL ： http://plaza6i.f-npon.jp/

編集：認定 NPO 法人 藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設　指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪
サポーターも随時募集中です！